

令和3年度 つかいみちを選べる赤い羽根募金 活動団体エントリー申請内容

①

法人・団体名	群馬県ホームヘルパー協議会 (昭和46年8月設立) (今回で5年目のエントリー)	
設立目的	自らの職務能力と職業倫理の向上を図るとともに、ホームヘルパーの社会的地位の向上を図る。	
活動内容等	在宅福祉サービスの提供及び利用者の権利擁護のための研修会、調査研究、普及啓発、関係機関等との連携など (年間支出規模 502 万円)	
解決したい課題	会独自で創設した「認定介護技術トレーナー」による地域の介護者等への介護技術の普及。人材確保及び定着の促進。在宅医療介護連携推進事業への参画。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・介護する地域住民等に対し、市町村・自治会町内会・事業所等と連携して、利用者の状況に応じた介護技術講座を開催。 ・Web等を活用した啓発活動を行い、人材確保と定着を図る。 ・トレーナーの資質向上のための研修会の開催。 	必要金額(概算)
		およそ 100万円

②

法人・団体名	特定非営利活動法人 ビーイング (平成27年7月団体設立、令和3年4月法人化) (今回で4年目のエントリー)	
設立目的	ひきこもり状態の当事者や家族を孤立させず、地域の支援者が寄り添い、応援し、社会参加につなげることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを行う。	
活動内容等	家庭訪問支援、相談業務、家族会、居場所の提供、ボランティア活動参加支援 (年間支出規模 118 万円)	
解決したい課題	ひきこもりに対する市民の理解促進。いわゆる“グレーゾーン”の人を繋げる機関がない、社会参加を訓練する場がない、常設の居場所がない等の課題がある。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援活動の現状について情報発信していく。 ・バザー、賛助会費収入など自己財源確保に努め、また生産性ある活動を展開していく。 ・支援スタッフが活動しやすい環境づくり。 	必要金額(概算)
		およそ 30万円

③

法人・団体名	高次脳機能障害者と家族と支援者の会 NPO 法人ノーサイド (平成19年4月設立) (今回で2年目のエントリー)	
設立目的	高次脳機能障害に対する理解を深め広く一般に啓発し、高次脳機能障害者や家族への援助を行う。	
活動内容等	高次脳機能障害に関する情報収集・情報交換、広報、普及活動、当事者や家族に対するピアサポート事業など (年間支出規模 34 万円)	
解決したい課題	高次脳機能障害は症状が複雑で一見理解されにくく、適切な評価・支援に繋がりにくい。中途障害の当事者や家族をスムーズに支援に繋げる体制づくりが必要。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者や家族の相談対応や交流のための訪問、リモート交流。 ・当事者、家族、支援者へのメール等情報発信。 ・行政、施設、病院などの協力を得て、細やかな相談にも対応。 ・高次脳機能障害の周知啓発のためポスター配付等を実施。 	必要金額(概算)
		およそ 10万円

④

法人・団体名	NPO法人 学習塾HOPE (平成24年1月団体設立、28年5月法人化) (今回で7年目のエントリー)	
設立目的	学習意欲がありながら生活困難等により学習の機会に恵まれない児童・生徒を対象として、無料で学習指導を行いつつ、子どもたちに寄り添う。	
活動内容等	小中学生・高校生に個別学習を基本とする無料学習指導を行う。また生徒への人間教育、保護者の相談援助、講師研修会等も行う。(年間支出規模 309 万円)	
解決したい課題	いわゆる「貧困の連鎖」を防止する。学習指導を通じて生徒が将来に希望を持てるように支援する。居場所づくりに工夫を加え、生活困窮支援の一助とする。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 入塾料、授業料を無料とし、教材の負担も軽減する。 学習に加え、人づくり支援についても指導方法を工夫する。 対象となる子がいる地域に教室を根付かせるよう努める。 居場所づくりのため「食育」と「学習」との連携を工夫する。 	必要金額(概算)
		おおよそ 45万円

⑤

法人・団体名	特定非営利活動法人 iitoko (平成26年5月団体設立、30年10月法人化) (今回で7年目のエントリー)	
設立目的	子どもや子どもを取り巻く大人に対して、孤立防止及び子育て支援に関する事業等を行い、地域の活性化と福祉の向上に寄与する。	
活動内容等	子どもや子育て中の母親又は家族、地域の人々の心休まる居場所を提供する。子どもの発達に関する相談、情報提供、イベント・研修等実施。(年間支出規模 152 万円)	
解決したい課題	障害児を育てる母親や家族への理解を深め地域(学校、施設、店、隣近所等)と連携し、特に母親(家族)の孤立化を防ぐ。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 安心して集える居場所(拠点)の存続 地域、学校、行政、企業等の繋がりを深めるとともに、障害理解を促す勉強会やイベントを開催する。 活動継続にあたり感染症予防策の徹底を図る。 	必要金額(概算)
		おおよそ 50万円

⑥

法人・団体名	ハレルワ (平成27年6月設立) (今回が初エントリー)	
設立目的	LGBTQ+及び周辺のマイノリティへの支援。性的指向や性自認に関する課題と解決を訴えるための啓発活動。多様性を認め合える社会の実現への貢献。	
活動内容等	当事者の交流・居場所づくり・相談支援事業、講演やイベント実施等の啓発活動、行政組織・他団体と連携した活動 (年間支出規模 295 万円)	
解決したい課題	LGBTQ+当事者の自己肯定感低下とメンタルヘルス等健康リスク増。教育・就労・法律・医療・地域・福祉などさまざまな場面での差別。相談窓口もない。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> LGBTQ+当事者に向けた交流・居場所づくり・相談支援で、自己肯定感の向上と生きづらさの解消を目指す。 多様性、人権に関する啓発活動の継続実施で、マイノリティの人が生きやすい社会の実現を目指す。 	必要金額(概算)
		おおよそ 50万円

⑦

法人・団体名	あつまれ前橋スポット (平成29年4月設立) (今回が初エントリー)	
設立目的	子どもの孤食・欠食を防ぎ、地域で子どもを支える居場所となる。子どもの諸問題(学習、貧困、いじめ、自殺、DVなど)の解決を手助けする。	
活動内容等	月1回の子どもの居場所運営(学習支援、食育、読み聞かせ、季節行事など) 現在は感染症予防のためフードパントリー形式で実施(年間支出規模122万円)	
解決したい課題	孤立若年ファミリー、ひとり親家庭の困窮。子どもの諸問題(学習、貧困、いじめ、自殺、DVなど)。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当、食材、おやつ、日用品などを無料定期配付。 ・子どもの諸問題について専門機関へつなぐ。 ・メディアを通じて情報発信していく。 ・孤立若年保護者の相談実施。 	必要金額(概算)
		およそ 60万円

⑧

法人・団体名	特定非営利活動法人 カウンセリング&コミュニケーション・ミュー(CCM) (平成18年2月設立)(今回で6年目のエントリー)	
設立目的	一般市民への導入的教育として、心理学、カウンセリング、人間福祉学の継続的な学習と、学習した知識を活かしてコミュニティ支援を行う。	
活動内容等	育児相談、親子のグループカウンセリング、不登校・ひきこもりの家庭訪問、居場所運営、高齢者グループカウンセリングなど(年間支出規模2,967万円)	
解決したい課題	不登校・ひきこもりの問題は解決の見通しが立たない社会問題。他者とのかかわりが少ないことによる自身の有能感の獲得ができず進路のイメージができない。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「リカバリー・カレッジ-小神明-プロジェクト」を運営し、自宅以外の居場所の提供と社会参加の準備の支援を行う。 ・本人が主体性をもって自己決定していくことを、カウンセリングとストレングスマodelの概念を基底に支援する。 	必要金額(概算)
		およそ 30万円

⑨

法人・団体名	子どもワクワク食堂実行委員会 (平成28年7月設立) (今回が初エントリー)	
設立目的	子ども食堂を通して、子どもも大人もひとりぼっちにしないこと。 みんながワクワクするようなあたたかい居場所をつくること。	
活動内容等	月1回の子ども食堂開催(現在は弁当配付)。週1回の地元高校ランチ・パン販売。 学習支援団体へ弁当配達、生活困難世帯への食料配付。(年間支出規模194万円)	
解決したい課題	孤立若年ファミリー、ひとり親家庭の困窮。子どもの諸問題(学習、貧困、いじめ、自殺、DVなど)。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当、食材、おやつ、日用品などを無料定期配付。 ・子どもの諸問題について専門機関へつなぐ。 ・メディアを通じて情報発信していく。 ・孤立若年保護者の相談実施。 	必要金額(概算)
		およそ 30万円